



京都市では、市民のお墓としての市営墓地に加えて、深草墓園に納骨堂や樹木型納骨施設があるよ。原則、京都市民であれば、宗教・宗派の別なく利用できるんだ。墓地の場合は、事前に使用許可(原則公募)を受けた区画に対する使用料と、年1回の管理料を払ったうえで、使用者が墓石等を建立するんだよ。また、納骨堂の場合は、事前の申込手続等は不要で、必要書類と遺骨、納骨料を持って、現地で手続をすればいいんだよ。

樹木型納骨施設って初めて聞いたけど、どんなお墓なの。



樹木型納骨施設は、最近出てきた新しいお墓の形で、樹木葬と呼ばれたりもするけど、シンボルとなる樹木の周りに多くの方の遺骨をまとめて埋める形の納骨施設だよ。

お墓にもいろいろな種類があるんだね。



お墓探しの前に、もうちょっと勉強しなくっちゃ。

市営墓地・深草墓園についての
ご相談・お問合せ 京都市保健福祉局医療衛生推進室医務衛生課

場所 〒604-8101 京都市中京区柳馬場通御池下る柳八幡町65 京都朝日ビル6階

TEL 075-222-3433

FAX 075-213-2997

E-mail eisei@city.kyoto.lg.jp

ホームページ 京都市市営墓地(又は)京都市深草墓園 検索

【「あなたらしく生きていくための備え」全般についてのお問合せ】

京都市長寿すこやかセンター (運営:社会福祉法人京都市社会福祉協議会)

受付時間 月～土 午前9時～午後9時 日・祝 午前9時～午後4時30分

※毎月第3火曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始(12/29～1/4)は休み

TEL 075-354-8741

FAX 075-354-8742

E-mail sukoyaka.info@hitomachi-kyoto.jp

URL <http://sukoyaka.hitomachi-kyoto.jp/>
関係機関の相談窓口の案内もこちらから

〒600-8127
京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1
「ひと・まち交流館 京都」4階

京都市バス 4・17・205系統 「河原町正面」下車すぐ
京都市営地下鉄 烏丸線 「五条」下車徒歩約10分
京阪電車 「清水五条」下車徒歩約8分

発行 平成30年8月
発行者 京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室健康長寿企画課
京都市長寿すこやかセンター
京都市印刷物 第304490号

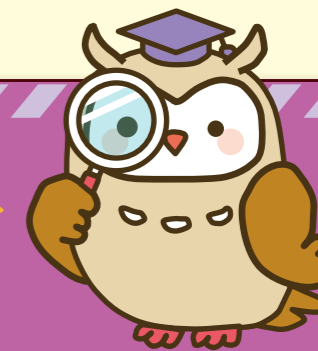


「あなたらしく生きていくための備え」は、総論編と順次発行する各論編(住まい、権利擁護、遺言・相続、葬儀・お墓、介護、ひとりでも生きがいをもって暮らすために、医療)で構成されます。

シリーズ

あなたらしく生きていくための備え

葬儀・お墓編



病気療養中だった知人の高橋さんが亡くなられたため、太郎さんと花子さんはそろってお葬式に参列し、家に戻ってきました。



高橋さんが好きだった音楽が流れたり、大切に育てておられたお花が飾られていて、高橋さんらしさを感じられるお葬式だったわね。



私たちが高橋さんのように事前に準備できたら、一男や仁美も安心よね。



お話中、失礼します! このリーフレットのナビゲーターナビロウです。最近では、高橋さんのように、葬儀やお墓のことを生前から準備しておく人が増えているんだよ。



ところで、人が亡くなってからお葬式や納骨までの流れはどうなっているんだろう。両親のときは姉さんに任せきりだったな。



では、まずは、人が亡くなってから葬儀や納骨までの流れを簡単に説明するね。

でも、まだまだ実感をもって考えられないなあ…。

遺影用の写真を準備する人が増えているという話題を、新聞で目にしたことがあるわ。私も、できるなら遺影用の写真は自分で決めたいわ。

私も兄さん任せだったから、よく分からないわ。

佐藤さん一家



夫 太郎さん(72歳)
妻 花子さん(70歳)
猫 ミー(8歳)

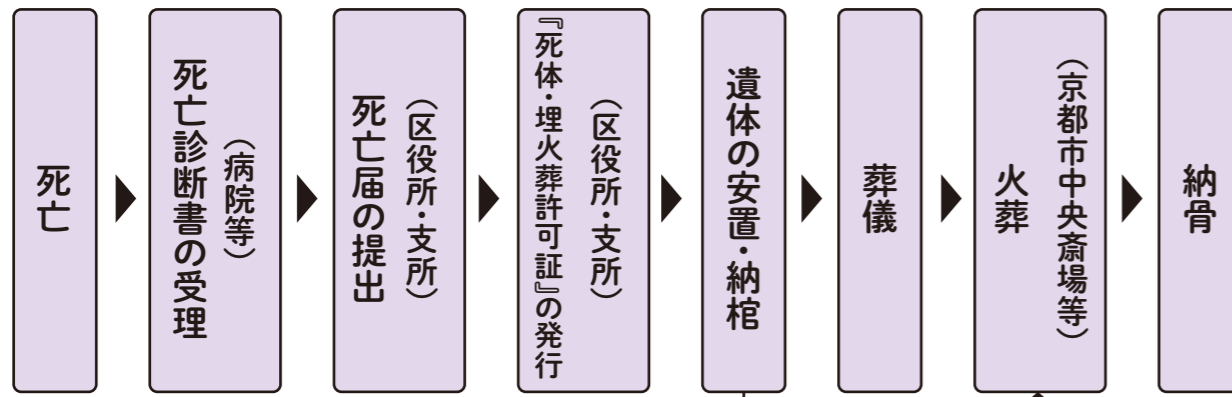


長男 一男さん(43歳・会社員)
陽子さん(妻)と晴くん・空ちゃん・輝ちゃん
府外で暮らす



長女 仁美さん(33歳・教員)
市内で一人暮らし

<死亡から納骨までの流れ>



葬儀を行わない場合もある(直葬)



亡くなってから火葬までの期間は大体2~3日程度よね。そんなに短い期間に、これだけのことをしないとイケないのね。

故人がどんな葬儀を望んでいたのか分からず、遺族が困ることがあるよ。とてもデリケートな話題だけど、準備しておくなら、まずはご自身で考えたうえで、ご家族や親しい人と話し合っておいたらどうかな。参考として、もしものときに役立つよう、葬儀についてあらかじめ考えておいた方がいいことをいくつか紹介するね。



あらかじめ考えておけば役立つこと

葬儀の形式

- ・近親者だけの家族葬か、知人にも参列いただく一般葬か
- ・宗教宗派の定めによる葬儀か、無宗教葬か
- ・葬儀のあと、お別れ会や偲ぶ会等を開催するか

葬儀の場所

- ・自宅、葬儀業者のホール、寺院・教会等宗教施設、公共施設(公民館)等

葬儀会社

葬儀にかかる費用

その他

- ・遺影写真、家紋の確認、希望の装束等

葬儀費用は葬儀の規模に大きく左右されるから、心配ならあらかじめ葬儀会社と相談しておいてはどうか。ちなみに、遺族への負担を考慮して、生前に葬儀会社と葬儀契約を結んでおくこともできるよ。また、葬儀のときに、信仰している宗教宗派に基づく儀式を希望する場合は、儀式の依頼先となるお寺や教会等の有無と、その連絡先等をご家族や親しい人に伝えておいた方がいいと思うよ。



自分の望む葬儀をしてほしいという思いはあるけど、お金のことは気になるな。誰に、どんな葬儀をしてもらうか等、生前に明らかにしておく方法はあるのかな。



生前に葬儀の内容や喪主を明らかにしておく方法はいくつかあるよ。その例を紹介するね。

生前契約

生前に、葬儀社と葬儀契約を行う。

死後事務委任契約

自分の葬儀の主宰者(喪主)を選び、葬儀の方法や内容を契約によって決めておく。

遺言

葬儀の主宰者(喪主)や葬儀費用を支払う人を指定しておく。



このほか、大切な方へのメッセージとして、どんな葬儀をしてほしいのか自分の希望を書き残しておくことが考えられるね。最近では、いわゆる「エンディングノート」*などと呼ばれるものがある、一般の書店等でもよく見かけるようになってきたよ。そこには、葬儀のことやそれ以外の様々な項目が示されていて、どのようなことを書けばいいか参考になるから、気軽に取り組むことができると思うよ。もちろん、任意の様式で自由に作成することもできるんだ。

*契約や遺言と違って法的拘束力はありません。

*書き残したものがいざという時に発見されないという意味がなくなりますので、ご家族や親しい人に、その存在を伝えておくことをお勧めします。

ところでナビロウくん、お墓のことも気になってるんだけど。

お隣の田中さんは、近くに先祖代々のお墓があって、そこに入るつもりですって。佐藤家のお墓は遠くにある、実家のお姉さんが管理してくれているから、私たちは近くに新しくお墓を建てることも考えているの。



お墓は、自分だけでなく、残された家族・親族との関わりが大きいので、将来のことも含め、じっくりと考えてみてはどうか。先祖代々のお墓に入るのであれば、お墓の管理人や、親族で主に誰がお世話しているのか確認しておいた方がいいね。新たなお墓を探すのであれば、立地や費用はもちろんのこと、宗教宗派のことや今後の管理のあり方など、いろいろなことを考える必要があるね。

年月が経ってお世話する人がいなくなって、放置されてしまうお墓があるというニュースを見たわ。



将来、お墓を引き継いでくれる人がいない場合には、お墓の管理人に相談してみて。他に、あらかじめ承継を必要としない墓地や納骨施設を選ぶ方法もあるよ。気になる場所があれば、契約する前に、費用や条件をしっかりと確認したうえで、ご家族や親しい人と相談してみてはどうか。最後に、京都市の市営墓地などの例を紹介するね。

